

# 競技注意事項

1. 本競技会は、2022年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則に準じ、その他は大会要項及び申し合わせ事項によって行う。
2. 本競技会は新型コロナ感染拡大防止の見地から**安全・安心できる競技会を目指し**、開催します。競技者・競技役員・補助員以外は競技場への立ち入りを禁止します。 ※ 入退場時は「3密」を避けるために、陸上競技場の安全な使い方に従うこと。
3. 本競技会に参加する競技者ならびに競技役員・補助役員は日本陸上競技連盟が示すところの体調管理チェックシートを提出するとともに検温を受けて参加してください。
4. トラック競技はジュニアの部および100m以外のレースはすべてタイムレースとする。100mのみ予選・決勝とする。(Top8)走高跳を除くすべてのフィールド競技は、トップ8を実施する。
5. 最終コールは**現地で下記の時刻**とします余裕を持って集合すること。招集時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなします。

種目	招集完了時刻	備考
トラック各種目	競技開始の15分前完了	タイムテーブル参照
フィールド種目	競技開始の40分前完了	練習試技は現地で行う

リレー種目については、各チームが自分の組・レーンを確認し、第1走者のみがスタート地点で招集を受けること。

リレーのオーダー用紙は第1組目招集完了時刻の1時間前までに競技係(正面玄関)へ提出すること。時刻厳守  
一度提出したオーダー用紙は招集完了時刻前であっても差し替えが出来ないので注意すること。

リレーのマーカー(最大50mm×400mm)は各チームで用意すること。レース後は参加チームが責任をもって撤去すること。

6. アスリートビブス(ナンバーカード)は、所定の登録番号(中体連・高体連・一般)とし、各自で用意すること。  
トラック種目は胸と背に、跳躍種目は胸または背のどちらか一方のアスリートビブスを着用して参加すること。  
ただし、800m以上の競技種目に出場する競技者は腰ナンバー標識も準備し、身体の右腰部につけること。腰ナンバー標識はレーンナンバーとする。**文字は太くはっきりと一見して確認できるもの**を用意すること。

**ジュニアおよび一般(非登録者)については主催者側で用意をする。**

(アスリートビブスの大きさは横24cm×縦16cm以内とし、腰ナンバーは18cm×12cmを標準とする。)

7. 走高跳のバーの上げ方については競技者の自己記録を考慮し、決定する。
8. スパイクピンの数は11本以内で長さは9mm以内、(ただし走高跳・やり投は12mm以内)とする。また、先端近くで、長さの半分は4mm四方の定規に適合したもの。靴底と踵(スパイク・ランニングシューズを含む)についてはTR5.5及びTR5.13に適合し、規則に適合したものを使用すること。(非適合の靴の使用は認められない。)
9. ウォーミングアップでバックストレッチを利用する場合はマーシャルの指示に従い、競技場の安全な使い方を遵守すること
10. 投てき器具(やり)は2個まで検査をして使用することができる。競技開始時刻の90分～60分前にフィニッシュ地点横の用器具庫へ持参して検査を受けること。(その場合のみ第2ゲートからの入場を認めますので競技役員にその旨を申し出る。)
11. その他
  - ① 競技中に発生した事故等について、応急処置は主催者で行うが、以降の責任は負わないものとする。
  - ② 記録の発表は、アナウンスで発表します。決勝1位～3位までの入賞者は放送後概ね30分～60分後に賞状・メダルを授与しますのでエントランスまで受け取りに来てください。(3密を避けるために表彰式は行いません)  
競技会結果につきましては、川越市陸上競技協会のホームページ等に後日掲載します。
  - ③ 悪天候の場合、競技の一時中断や中止の判断を主催者側がする場合がありますのでご理解下さい。また雨天走路をダッグアウトとして使用することはできません。雨天時等につきましては主催者側で指示します。
  - ④ 円滑な競技会運営をするために各学校2～3名は補助役員としてご協力をお願いします。**(時差別来場の関係で)**
  - ⑤ 各自で出したゴミは**自己処理の原則**としますので、各自でお持ち帰りをお願いします。
  - ⑥ 自転車については指示された場所に駐輪し、点字ブロック上に置いたり、通行の妨げとならないようにして下さい。
  - ⑦ 競技終了後は混雑を避けるために速やかに帰路についてください。

**※ 競技会参加者は競技者・指導者向け日本陸連・競技会参加についてのガイダンスを理解のうえ、参加すること。**